

【科目名】	臨床運動学	専門基礎分野(2単位)		【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて18年実務経験		
【講義期間】	2年次前期			【対象学生】	第 2学年 作業療法学科		
【時間数】	45 時間 (2時間 23回)			【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)		
授業内容・目標	①運動力学・生体力学の基礎知識と動作への解釈 ②正常動作の生体力学的メカニズムとその解釈 ③疾患特有の姿勢・動作と病態・障害像との関係 ④疾患・障害動作分析のチェックポイント について学習をする。						
前提知識	基礎運動学で学んだ知識						
【実施形態】	講義(○)		演習(○)		実習()		
到達目標	授業内容・目標の①～④を通して主な疾患・障害の姿勢・動作分析とその記述が行えるようになる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100%				
	実施時期		18回 23回				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月1日	1	基礎運動学の復習	授業の進め方・学習方法等について	櫻井
4月7日	2	肩関節の臨床運動学①	解剖の復習、烏口肩峰アーチ、AHL、インピンジメント症候群、腱板断裂	櫻井
4月8日	3	肩関節の臨床運動学②	理学所見(インピンジメントテスト)、プログラムの立案と治療の考え方	櫻井
4月14日	4	肘関節の臨床運動学①	腕神経叢の理解と腕神経叢損傷の評価	櫻井
4月15日	5	肘関節の臨床運動学②	解剖の復習、靱帯の不安定性の検査、神経障害の検査(橈骨・正中・尺骨)	櫻井
4月28日	6	手関節の臨床運動学①	解剖の復習、手根管症候群、手のZONE分類、末梢神経障害の理解と検査	櫻井
5月2日	7	手関節の臨床運動学②	頸髄損傷における腱作用(テノデーシスアクション)の日常生活での活用、前骨間神経麻痺、後骨間神経麻痺	櫻井
5月12日	8	股関節の臨床運動学①	解剖の復習、変形性股関節症、臼蓋形成不全(骨硬化・骨棘・骨嚢胞)	櫻井
5月13日	9	股関節の臨床運動学②	股関節外転筋筋力の低下(Trendelenburg徴候・Duchenne徴候)、トーマステスト	櫻井
5月19日	10	膝関節の臨床運動学①	解剖の復習、膝関節形態の異常(変形性膝関節症)、lateral thrusutとは?	櫻井
5月22日	11	膝関節の臨床運動学②	膝内側側副靱帯損傷、前十字靱帯不全膝、膝関節運動と後十字靱帯の緊張	櫻井
5月27日	12	足部の臨床運動学①	解剖の復習、足のアーチを作る筋、ウィンドランス・トラス機構	櫻井
5月29日	13	足部の臨床運動学②	足部の変形、足根管症候群、足関節内反捻挫	櫻井
6月2日	14	頭部・顔面の臨床運動学	解剖の復習、顎関節の理解、顎関節症、咀嚼と開口障害の評価、顔面神経麻痺の評価	櫻井
6月5日	15	胸郭と脊柱の臨床運動学	胸郭と脊柱の変形、スパイログラム、呼吸リズムとその異常(異常呼吸と病的呼吸)	櫻井
6月9日	16	標準的姿勢のアライメント	脊柱の弯曲による姿勢の分類、骨盤前傾姿勢、骨盤後傾姿勢、側弯症	櫻井
6月12日	17	歩行	歩行周期、歩行率(ケイデンス)・床反力・歩行中の筋活動	櫻井
6月19日	18	1～17回までのまとめと評価(70点分)	運動学知識の確認、テスト	櫻井
6月30日	19	姿勢分析① ※試験対策	分節の理解	櫻井
7月1日	20	姿勢分析② ※試験対策	支持基底面と重心の理解	櫻井
7月8日	21	動作分析① ※試験対策	起き上がりの動作分析	櫻井
7月11日	22	動作分析② ※試験対策	立ち上がり・着座(移乗動作)の動作分析	櫻井
7月18日	23	総復習	授業のまとめ	櫻井
7月28日	24	19～22回までのまとめと評価(30点分)		櫻井
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第4版 (15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学)			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	内科学Ⅰ	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	石島 孝樹			
【講義期間】	2年次前期 令和7年4月18日～		【対象学生 第 2学年	理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9 : 00 ～ 12 : 10【隔週】			
授業 内容・目標	一般的な内科学に関する疾患についてその病態や成り立ち、治療法を理解する。 理学療法・作業療法を実施する上でのリスクを理解する。						
前提知識	一年次に学んだ解剖・生理学の知識を再確認すること。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	内科疾患の基礎を理解できる。 病気の成因や病態を理解できる。 治療法やリスクを理解できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月18日	1	循環器疾患(1)	循環器系の解剖と生理	石島
4月18日	2	循環器疾患(2)	循環器疾患の診断法、心電図の基礎、画像所見	石島
5月2日	3	循環器疾患(3)	循環器疾患各論、高血圧症、虚血性心疾患	石島
5月2日	4	循環器疾患(4)	心筋疾患、心筋症、心不全の病態生理	石島
5月16日	5	循環器疾患(5)	不整脈の種類、肺性心、大動脈疾患	石島
5月16日	6	循環器疾患(6)	末梢動脈疾患、末梢静脈疾患、心臓リハビリテーション	石島
5月30日	7	呼吸器疾患(1)	肺の解剖と生理	石島
5月30日	8	呼吸器疾患(2)	呼吸器疾患の症候とその病態生理	石島
6月13日	9	呼吸器疾患(3)	呼吸器疾患各論、感染性肺疾患、肺化膿症、肺結核	石島
6月13日	10	呼吸器疾患(4)	慢性閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患	石島
6月27日	11	内分泌疾患(1)	内分泌疾患総論、ホルモンの分泌調節機構	石島
6月27日	12	内分泌疾患(2)	内分泌疾患各論、下垂体疾患、甲状腺疾患	石島
7月11日	13	自己免疫疾患(1)	免疫系の働き、アレルギー疾患、アナフィラキシーショック	石島
7月11日	14	自己免疫疾患(2)	膠原病、膠原病に属する疾患と膠原病類縁疾患	石島
7月18日	15	自己免疫疾患(3)	皮膚筋炎、全身性エリテマトーデス(SLE)、免疫不全症	石島
教科書 参考書	標準理学療法学作業療法学「内科学」第4版 医学書院			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				

【科目名】	内科学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)		【講師名】	石島 孝樹		
【講義期間】	2年次後期 令和7年9月5日～			【対象学生 第 2学年	理学療法学科 65名 作業療法学科 25名		
【時間数】	30時間(2時間 15回)			【時間帯】	9 : 00 ～ 12 : 10【隔週】		
授業 内容・目標	一般的な内科学に関する疾患についてその病態や成り立ち、治療法を理解する。 理学療法・作業療法を実施する上でのリスクを理解する。						
前提知識	一年次に学んだ解剖・生理学の知識を再確認すること。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	内科疾患の基礎を理解できる。 病気の成因や病態を理解できる。 治療法やリスクを理解できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9月5日	1	血液疾患(1)	血液の生理、造血と血液細胞の分化、血液の検査法	石島
9月5日	2	血液疾患(2)	血液疾患各論、出血性疾患、白血病および他の血液腫瘍性疾患	石島
9月19日	3	代謝系疾患(1)	代謝調節の仕組み、糖質と代謝、タンパク質、脂質	石島
9月19日	4	代謝系疾患(2)	無機質(ミネラル)とその所要量、代謝性疾患各論	石島
10月3日	5	代謝系疾患(3)	糖尿病、糖尿病のリハビリテーション、メタボリックシンドローム	石島
10月3日	6	代謝系疾患(4)	腎臓の解剖と生理、腎疾患の症候とその病態生理	石島
10月17日	7	代謝系疾患(5)	腎・泌尿器疾患各論、慢性腎不全、全身性疾患による腎障害	石島
10月17日	8	代謝系疾患(6)	水・電解質代謝の生理学、酸塩基平衡の異常	石島
11月7日	9	消化器がん(1)	消化管の解剖と生理、消化管疾患の症候とその病態	石島
11月7日	10	消化器がん(2)	消化管疾患各論、食道癌、胃疾患の病態および症状	石島
11月21日	11	消化管疾患(1)	胃癌、小腸・大腸の悪性腫瘍、肛門疾患	石島
11月21日	12	消化管疾患(2)	肝臓の解剖と循環系、肝臓の生理機能、肝不全の病態生理と症候	石島
12月12日	13	消化管疾患(3)	肝胆疾患各論、膵臓疾患各論、腹壁・腹膜疾患各論	石島
12月12日	14	検査データの解釈(1)	臨床検査データの診かた、血液検査	石島
12月19日	15	検査データの解釈(2)	尿・便検査、画像診断(X線単純撮影、超音波検査、CT検査)	石島
教科書 参考書	標準理学療法学作業療法学「神経内科学」第4版 医学書院			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				

【科目名】	臨床検査概論	専門基礎分野(1単位)		【講師名】	郷野 辰幸		
【講義期間】	2年次後期 令和7年9月1日～			【対象学生	第 2学年	理学療法学科 65名	作業療法学科 25名
【時間数】	15時間(2時間 7.5回)ほか期末試験			【時間帯】	13:00	～ 16:10	(最終回10/2のみ13:00～15:25)
授業 内容・目標	臨床検査の目的および病態との関連を理解する, 内科学と関連付け理解を深める						
前提知識	解剖学や生理学などの基礎医学の知識 疾患に対する組織・細胞などの反応に関する病理学の知識						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	各種臨床検査, 検査値の意義について説明できる						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	臨床検査とその役割	臨床検査の目的, 臨床検査の種類, 検査結果の評価	郷野
	2	一般検査	尿検査, 便検査, 体腔内貯留液検査, 脳脊髄液検査, 関節液検査	郷野
	3	血液学的検査-1	血液の成分構成について, 血球検査, 出血・凝固検査	郷野
	4	血液学的検査-2		郷野
	5	生化学検査-1	血清タンパク質・血清酵素の検査, 糖代謝・脂質代謝の検査, 腎機能検査	郷野
	6	生化学検査-2		郷野
	7	免疫・血清学的検査-1	炎症マーカーの検査, 免疫グロブリン, 自己抗体の検査, 腫瘍マーカー, 輸血に関する検査	郷野
	8	免疫・血清学的検査-2		郷野
	9	内分泌学的検査	全身の内分泌器官から産生されるホルモンの検査	郷野
	10	病理検査	細胞診, 病理組織検査	郷野
	11	微生物学検査	感染症について, 一般細菌・ウイルスについて	郷野
	12	院内感染対策について	感染対策の基本, 職業感染対策, 廃棄物の取り扱いについて	郷野
	13	生理機能検査-1	心電図, 呼吸機能検査, 神経機能検査	郷野
	14	生理機能検査-2		郷野
	15	画像検査	超音波検査, MRI検査	郷野
	16	テスト		
教科書 参考書	系統看護学講座別巻「臨床検査」 奈良信雄編 医学書院			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	薬理学	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	小野木 弘志			
【講義期間】	2年次後期 令和7年9月4日～		【対象学生 第 2学年	理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	15時間(2時間 7.5回 (ほか期末試験) 木曜日		【時間帯】	13:00 ～ 14:30 14:40 ～ 16:10			
授業内容・目標	リハビリテーション計画・実施・評価において必要な薬の作用、副作用を学びます。医療専門職として、薬の基礎知識を科学的・論理的に自分の言葉で説明できるようになることを目標としています。またグループワーク等のアクティブラーニングを通じて、自ら学ぶ姿勢を養います。						
前提知識	解剖生理学、生化学、病理学						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	リハビリテーション計画・実施・評価に必要な薬の知識について説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	60		10	10	10
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解		○		○	○	○
	思考・推論		○		○	○	○
	実践・表現				○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
8月4日	1	薬理学総論、確認試験	薬がどのように作用するのかを神経伝達物質や受容体を例に概説する。薬理学、薬物動態学の基礎のほか、これまでの学修との関連付けを行う。	小野木
9月4日	2	リハビリテーション計画・実施に影響する薬について調べる	筋弛緩薬、局所麻酔薬を含む末梢・中枢神経各作用薬、非ステロイド性抗炎症薬、ステロイド、抗ヒスタミン薬、循環器系作用薬など、リハビリテーション計画・実施に影響する薬についてグループワークを行う。	小野木
9月11日	3	末梢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	末梢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。	小野木
9月11日	4	中枢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	中枢神経系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。	小野木
9月18日	5	循環器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	循環器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。	小野木
9月18日	6	代謝系疾患治療薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	代謝系疾患治療薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。	小野木
10月2日	7	消化器系、呼吸器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション、講義、確認試験	消化器系、呼吸器系作用薬のグループワーク発表、ディスカッション後、講師による講評、講義を実施する。講義後は確認試験(ミニテスト)を実施する。	小野木
10月2日	8	その他の薬(抗悪性腫瘍薬、抗感染症薬)の講義、これまでの振り返りと確認試験	抗悪性腫瘍薬、抗感染症薬の講義を実施する。講義後はこれまでの授業内容の振り返りと確認試験(ミニテスト)を実施する。	小野木
10月9日	9	まとめと確認	講義のまとめとして筆記試験を実施する。筆記試験後には授業のまとめとして試験の解説を実施する。	内部教員 実施
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	なし			
授業に必要な物	筆記用具、ノート、薬に関する専門書・スマートフォン・タブレット端末・ノートPCなど、薬に関して調べることができるツール			
備考				

【科目名】	整形外科学Ⅰ	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	下平茂晴(理学療法士):医療機関にて11年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15 回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:40 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	整形外科分野の知識について理解する						
前提知識	解剖学・運動学・生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状及び特徴を説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		70		30		
	実施時期		当科目終了時				
	補足		○				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月7日	1	整形外科疾患の画像について	オリエンテーション 画像の診かたについて	下平
4月14日	2	下肢の骨折	代表的な下肢骨折の病態、発生機序・分類、治療	下平
4月21日	3	大腿骨頭部骨折と人工関節置換術	大腿骨頭部骨折の病態、病期、治療 人工関節置換術と脱臼について	下平
4月28日	4	大腿骨頭部骨折と人工関節置換術	人工関節置換術後のADLについて	下平
5月12日	5	変形性膝関節症①	変形性関節症について	下平
5月19日	6	変形性膝関節症②	変形性関節症について	下平
5月26日	7	変形性膝関節症③	変形性関節症について	下平
6月2日	8	整形外科疾患におけるリスク管理(手術合併症)	静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症)	下平
6月9日	9	骨粗鬆症	骨粗鬆症の成因、原発性と続発性、評価と治療、その他の低骨量の疾患	下平
6月16日	10	腰痛症(腰椎ヘルニア、脊柱管狭窄症)	腰痛を引き起こす疾患、病態、病期、腰痛の評価、治療	下平
6月23日	11	側弯症	側弯症の病態、病期、評価、治療	下平
6月30日	12	骨壊死・骨端症	特発性骨壊死と続発性骨壊死、骨端症の分類	下平
7月7日	13	四肢循環障害	深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、バージャー病、閉塞性動脈硬化症、他	下平
7月14日	14	脊髄損傷①	脊髄ショック、麻痺、自律神経過反射、残存高位とADL、ザンコリーの分類 ASIAの分類、フランケルの分類	下平
7月28日	15	脊髄損傷②	障害部位による分類(脊髄部分損傷、中心性脊髄損傷、ブラウンセカール症候群)、脊髄の上行性伝導路、脊髄の下行性伝導路	下平
8月4日	16	まとめと評価(期末)	整形外科領域の基礎知識の確認。疾患の特徴、検査、治療の理解について	
教科書 参考書	標準整形外科学(医学書院)			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	整形外科科学Ⅱ	専門基礎分野 (1単位)	【講師名】 下平茂晴(理学療法士):医療機関にて11年実務経験				
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】 第2学年 理学療法学科 作業療法学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15 回)		【時間帯】 9:00～10:30 (他時間割参照)				
授業 内容・目標	整形外科分野の知識について理解する。各疾患の病態・検査・治療について説明できる。 知識を用いて国家試験問題を解答することができる。						
前提知識	解剖学・運動学・生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状及び特徴を説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		70		30		
	実施時期		15回目				
	補足						
	関心・意欲		○		○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	スポーツ外傷(靱帯)	足関節靱帯損傷、アキレス断裂、腸脛靱帯炎、その他シンスプリント	下平
	2	スポーツ外傷(半月板)	ACL/PCL/MCL損傷の症状	下平
	6	肩疾患	肩周囲の構造、回旋筋腱板、肩関節周囲炎、腱板断裂・術後プロトコール等	下平
	3	上肢の骨折	骨折の分類、モンテジア骨折、ガレアッチ骨折、コレス骨折、スミス骨折、ペネット骨折等	下平
	4	骨折①	骨折の合併症、コンパートメント症候群、CRPS、小児の骨折の特徴、自家矯正能、若木骨折、急性塑性変形等	下平
	5	骨折②	脱臼(肩・肘・股関節)、捻挫、靱帯損傷、スポーツ外傷	下平
	7	末梢神経損傷、絞扼性神経障害	末梢神経の構造、セドンの分類、サンダーランドの分類、腕神経叢損傷、胸郭出口症候群、正中神経・尺骨神経・橈骨神経、手根管症候群、肘部管症候群、足根管症候群等	下平
	8	腰痛症、痛みの評価	特異性腰痛、非特異性腰痛	下平
	9	脊椎分離症、脊椎分離すべり症	腰椎分離症、脊椎分離症の症状の症状	下平
	10	黄色靱帯骨化症、後縦靱帯骨化症	黄色靱帯骨化症、後縦靱帯骨化症について	下平
	11	骨髄腫・骨腫瘍・軟部腫瘍	多発性骨髄腫(病期)・骨肉腫など	下平
	12	熱傷	熱傷深度、熱傷指数、熱傷予後指数、気道熱傷、熱傷面積の判定	下平
	13	ロコモティブシンドロームとフレイル・サルコペニア	ロコモ度チェック・評価、ロコモ体操、フレイル、サルコペニア(進行性筋量・筋力減少)について	下平
	14	関節リウマチ	リウマチの病理学、関節変形(スワンネック変形、ボタン穴変形、マレット指、ムチランス変形、尺側変位、脊柱変形、膝・足関節変形、外反母趾等)	下平
	15	関節リウマチ	ステインブロッカーの分類(クラス、ステージ)、ランズバリー指数、診断基準	下平
	16	まとめ	整形外科領域の基礎知識、疾患の特徴、検査、治療の理解について	下平
教科書 参考書	標準整形外科(医学書院)、病気が見えるVol⑪ 運動器・整形外科(メディックメディア) その他授業で配布する資料			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	臨床神経学Ⅰ	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	石島 孝樹			
【講義期間】	2年次前期 令和7年4月11日～		【対象学生】	第 2学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)ほか期末試験 金曜日		【時間帯】	9 : 00 ～ 12 :10【隔週】			
授業内容・目標	神経症候・神経学的所見について学び、その臨床的意義を理解する。また、神経・筋疾患に関する知識を獲得する。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖生理学の基礎知識。リハビリテーション分野における評価診断学の基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	神経症候・神経学的所見に関する臨床的意義を説明できる。神経・筋疾患に関する知識を理解し、疾患特性について説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月11日	1	中枢神経系の解剖と機能(1)	神経系の構成、神経の発達と加齢、中枢神経の構造	石島
4月11日	2	中枢神経系の解剖と機能(2)	中枢神経を囲む構造と髄液、中枢神経系の機能、末梢神経、神経の再生と可逆性	石島
4月25日	3	脳血管障害(1)	脳血管障害の概要、脳血管障害の症状と分類	石島
4月25日	4	脳血管障害(2)	頭蓋内出血(脳出血、くも膜下出血)、脳梗塞(脳血栓、脳塞栓)	石島
5月9日	5	脳血管障害(3)	特異な臨床像を呈する脳血管障害、脳血管障害の診断と治療	石島
5月9日	6	脳血管障害(4)	神経学的診断と評価(神経学的診断の実際、体幹・四肢の診療と検査)	石島
5月23日	7	神経症候学(1)	意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神	石島
5月23日	8	神経症候学(2)	運動麻痺、錐体路徴候、筋萎縮(運動麻痺と錐体路徴候、筋萎縮)	石島
6月6日	9	神経症候学(3)	錐体外路徴候、不随意運動、運動失調	石島
6月6日	10	神経症候学(4)	感覚障害(感覚障害の分布と特徴)	石島
6月20日	11	神経症候学(5)	高次脳機能障害総論(失語症)	石島
6月20日	12	神経心理学(1)	失認(失認の概念と分類)、失行(失行の概念と分類)	石島
7月4日	13	神経心理学(2)	記憶障害、遂行(実行)機能障害	石島
7月14日	14	神経心理学(3)	遂行(実行)機能障害、構音障害、嚥下障害	石島
8月18日	15	神経心理学(4)	意識障害(診察、問診、神経学的診察)	石島
教科書 参考書	標準理学療法学作業療法学「神経内科学」医学書院 ベッドサイドの神経の診かた(最新版) 南山堂			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				

【科目名】	臨床神経学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	石島 孝樹			
【講義期間】	2年次後期 令和7年8月28日～		【対象学生】	第 2学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間(2時間 15回)ほか期末試験 金曜日		【時間帯】	9 : 00 ～ 12 10【隔週】			
授業 内容・目標	神経症候・神経学的所見について学び、その臨床的意義を理解する。また、神経・筋疾患に関する知識を獲得する。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖生理学の基礎知識。リハビリテーション分野における評価診断学の基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	神経症候・神経学的所見に関する臨床的意義を説明できる。神経・筋疾患に関する知識を理解し、疾患特性について説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		当科目終了時				
	補足		障害像など				
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
8月29日	1	認知症(1)	認知症の概要、認知症の鑑別診断	石島
8月29日	2	認知症(2)	治療可能な認知症、脳腫瘍の概要	石島
9月12日	3	外傷性脳損傷	外傷性脳損傷の概要、外傷性脳損傷の症状と治療	石島
9月12日	4	脊髄疾患	脊髄疾患、脊髄損傷の随伴症状と合併症、脊髄損傷の心理的問題と日常生活	石島
9月26日	5	変性疾患(1)	変性疾患(脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患)、脱髄疾患(多発性硬化症など)	石島
9月26日	6	変性疾患(2)	錐体外路の変性疾患の定義、錐体外路疾患各論	石島
10月10日	7	末梢神経障害	末梢神経障害の分類、末梢性ニューロパシー	石島
10月10日	8	筋疾患(1)	てんかんの診断と治療、ミオパシーの概要	石島
10月24日	9	筋疾患(2)	ミトコンドリア病、先天性ミオパシー、多発性筋炎、周期性四肢麻痺、筋無力症	石島
10月24日	10	感染性疾患	神経系の感染、感染性疾患各論	石島
11月14日	11	小児神経疾患	脳性麻痺、二分脊椎、Down症候群、先天性代謝疾患	石島
11月14日	12	神経学的診察法(1)	診断のすすめかた、運動麻痺の部位とその原因診断、錐体路徴候	石島
12月5日	13	神経学的診察法(2)	運動機能の診かた、診察の順序、四肢の観察、筋緊張の診かた、歩行の異常	石島
12月5日	14	神経学的診察法(3)	反射の診かた、腱反射と表在反射、病的反射	石島
12月19日	15	神経学的診察法(4)	脳出血の診断、くも膜下出血の診断、脳梗塞の診断	石島
教科書 参考書	標準理学療法学作業療法学「神経内科学」医学書院 ベッドサイドの神経の診かた(最新版) 南山堂			
授業に必要な物	パソコン、プロジェクター			
備考				

【科目名】	精神医学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】	森川敦子先生(作業療法士、精神保健福祉士)			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2 学年 理学・作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	13:00 ～ 14:30 14:40 ～ 16:10 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	①精神疾患の病態を理解する ②精神障害者支援を理解する						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	精神疾患の病態を理解し、概要を説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
6月10日	1	精神医学とは	精神医学の定義・精神障害にかかわる概念・精神医学の歴史	森川先生
6月10日	2	精神障害者の成因と分類・精神機能の障害と精神症状	精神障害の成因・精神障害の分類・精神症状の把握	森川先生
6月11日	3	精神障害の診断と評価・脳器質性精神障害(遠隔)	診断・評価の方法 精神医学的診察法 脳器質性精神障害とは	森川先生
6月11日	4	症状性精神障害・精神作用物質による精神及び行動の障害(遠隔)	症状性精神障害の基本症状と主な疾患・精神作用物質による障害の定義・薬物依存	森川先生
6月24日	5	てんかん・統合失調症(遠隔)	てんかんの定義と概念・予後と治療 統合失調症とは	森川先生
6月24日	6	気分障害(遠隔)	気分(感情)障害とは うつ病と躁うつ病について	森川先生
6月25日	7	神経症性障害・生理的障害および身体的要因に関連した障害(遠隔)	神経症性障害のとらえ方・ストレス関連障害・摂食障害・睡眠障害 他	森川先生
6月25日	8	パーソナリティ行動性の障害(遠隔)	パーソナリティの障害 行動・性の障害	森川先生
7月15日	9	精神遅滞(遠隔)	精神遅滞とは・精神遅滞の医療	森川先生
7月15日	10	心理的発達障害(遠隔)	心理的発達の障害・特異的発達障害・広汎性発達障害	森川先生
7月16日	11	リエゾン精神医学・心身医学	コンサルテーション・リエゾン精神医学について・心身医学の概念と心身症	森川先生
7月16日	12	ライフサイクルにおける精神医学	ライフサイクルと年代の区分・各年代の精神医学	森川先生
7月29日	13	精神障害の治療とリハビリテーション	インフォームドコンセントの原則・治療の目標・薬物療法 他	森川先生
7月29日	14	精神科保健医療と福祉・職業リハビリテーション	精神障害者の処遇および医療の歴史・精神保健福祉法・障害者総合支援法	森川先生
7月30日	15	総復習	授業の総まとめ	森川先生
	16	まとめと評価		内部教員
教科書 参考書	標準精神医学 第9版 医学書院			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	精神医学Ⅱ	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	阿部 正孝			
【講義期間】	2年次後期 令和7年9月3日(水)～		【対象学生】	第 2学年 作業療法学科 25名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回) ほか期末試験		【時間帯】	水曜日 10:40～12:10			
授業内容・目標	実習や社会での職業人として、役立つ精神医学の知識を理解することを目標とする。						
前提知識	心を病むとはどういうことかを浅くて良いから心得ること。						
【実施形態】	講義()	演習()	実習()				
到達目標	精神の障害を持つ者と、日頃、どう接したら良いか？どうしたら健康になれるかなど説明できるようになる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	20%	80%				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲						
	知識・理解						
	思考・推論						
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
9・3	1	正常と異常	正常と異常の差異を学ぶ	阿部
9・10	2	統合失調症1	統合失調症のイメージを心得ます	阿部
9・17	3	統合失調症2	療法士に必要な陰性症状を学びます。	阿部
9・24	4	気分障害1	気分障害の概要、うつ病	阿部
10・1	5	気分障害2	気分障害、双極性感情障害	阿部
10・8	6	気分障害3	気分障害、新型うつ病	阿部
10・15	7	器質性精神障害1	医学的定義を考える。	阿部
10・22	8	器質性精神障害1	不可逆性ということ	阿部
10・29	9	心因性障害について1	不安と防衛	阿部
11・5	10	心因性障害について2	神経症について学ぶ。	阿部
11・12	11	人格および行動の障害	パーソナリティ障害について	阿部
11・19	12	精神発達の問題1	広汎性発達障害について	阿部
11・26	13	精神発達の問題2	広汎性発達障害の二次症状	阿部
12・3	14	ストレス関連障害1	適応障害、引きこもりについて学ぶ。	阿部
12・10	15	ストレス関連障害2	急性ストレス障害について	阿部
教科書 参考書	なし			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	小児科学	専門基礎分野(2単位)	【講師名】 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 渡辺似望(理学療法士):医療機関にて16年実務経験				
【講義期間】	2年次後期	【対象学生】	第2学年 理学療法学科 65名 作業療法学科 25名				
【時間数】	30時間(3時間 10回)	【時間帯】	13 : 55 ~ 16 : 10				
授業 内容・目標	胎芽期、胎児期を含む小児期の分類、新生児期の異常、特に乳児期を中心とした神経発達 of 正常と異常の見方、小児期の神経筋疾患、小児てんかんの診断と治療、セラピストに必要な小児慢性疾患の知識、最近重度化の目立つ重症心身障害児の医療的アプローチ等について小児リハに不可欠な知識を得る。						
前提知識	神経系の発生学、解剖学的知識。末梢神経や筋肉についての解剖学的・生理学的知識。						
【実施形態】	プリント、スライド、動画、教科書等を用いて講義を行う。						
到達目標	日々発達を続ける障害児に寄り添う機能訓練に興味を持って頂く。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	20%	80%				
	実施時期	講義時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画					
付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
	1	小児科学総論・新生児学	①小児期の分類、発達する小児の特性等。②新生児の特性、後遺症を残す新生児疾患。	川崎	
	2	発達神経学	特に乳児期の発達についての理論。正常発達と異常発達の診断の実際。	川崎	
	3	障害児医学	障害の発生時期を先天性、周産期、後天性に分類し、それぞれの疾患について解説。	川崎	
	4	神経筋疾患・脊髄疾患	筋繊維についての組織学・解剖学的事項。神経筋疾患各論。	川崎	
	5	てんかん	小児てんかんの定義、分類、治療。	川崎	
	6	呼吸器疾患・循環器疾患	①小児によく見られる呼吸器疾患 ②先天性心疾患・小児期後天性心疾患の病態。	川崎	
	7	感染症・アレルギー性疾患	①小児によく見られるウイルス感染、細菌感染を中心に解説。②アレルギー疾患の総説と小児によく見られるアレルギー疾患の解説。	川崎	
	8	血液疾患・内分泌疾患	小児期の血液疾患、および内分泌疾患について解説。	川崎	
	9	消化器疾患・腎疾患	①小児期に特有な消化器疾患 ②腎臓の生理学的事項および小児期慢性腎疾患。	川崎	
	10	重症心身障害児	重症心身障害児の定義およびその合併症(特に呼吸器、消化器)対策。	川崎	
	11	まとめと評価	小児の特性、発達理論、小児疾患の知識。	川崎	
	12				
	13				
	14				
	15				
教科書 参考書	標準理学療法学・作業療法学「小児科学」:医学書院				
授業に必要な物					
備考					

【科目名】	医学概論	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて18年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2 学年 作業療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	:	~	:	(他時間割参照)
授業内容・目標	医療職である作業療法士として、心構えを身につける。 医療人として、対象者や自己の心理的变化について理解する。 画像から読み取る力をつける。						
前提知識	1年次に習得した知識						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	医療職としての心構えを身につけ、心理的变化や画像を理解する。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		9回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				

授業計画				
3付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月3日	1	医療職としての画像理解①	画像検査法(CT、MRI、レントゲンなど)	櫻井
4月10日	2	医療職としての画像理解②	疾患各論(頭部) 脳血管障害、頭部外傷、変性・脱髄疾患、脳腫瘍 など	櫻井
4月17日	3	医療職としての画像理解③	疾患各論(脊椎・脊髄) 脊椎の疾患、胸腰椎の疾患、脊椎・脊髄の外傷、脊髄疾患 など	櫻井
5月1日	4	医療職としての画像理解④	疾患各論(四肢) 骨折・脱臼 など	櫻井
5月8日	5	医療人としての心得	記録、個人情報保護、感染対策、リスク管理、BLS、CPR、AED	櫻井
5月12日	6	医療における心理変化	障害受容、治療者と対象者間の感情(転移・逆転移)	櫻井
5月15日	7	吸引行為	制度、ガイドライン、実施方法など	櫻井
5月19日	8	総復習	授業の総まとめ	櫻井
5月26日	9	まとめと評価	医療職としての心構え、心理変化、画像が理解できる	櫻井
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
教科書 参考書	PT・OTのための画像診断マニュアル 医学教育出版社			
授業に必要な物	PC・プロジェクター・他 事前に確認すること。			
備考				

【科目名】	作業療法学概論Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 橋内駿(作業療法士):医療機関にて9年実務経験				
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】第2学年 作業療学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】: ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	作業療法に関わる様々な理論を学び、治療や援助の方向性を理解する。						
前提知識	作業療法概論Ⅰ, その他1年次に学習した作業療法に関する知識全般。						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	作業療法に関わる論理的な思考および具体的な問題解決方法について演習を通して理解する。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
3月12日	1	作業療法について考える	リハビリテーションと作業療法・作業療法の定義・作業療法の対象 他	橋内
4月10日	2	カナダ作業療法モデル	カナダ作業遂行測定(COPM)・作業遂行プロセスモデル(OPPM) 他	橋内
4月17日	3	カナダ作業遂行測定(COPM)①	OTの理論COPMを用いた問題解決と作業療法のプロセス①	橋内
4月30日	4	カナダ作業遂行測定(COPM)②	OTの理論COPMを用いた問題解決と作業療法のプロセス②	橋内
5月8日	5	その他の理論・人間作業モデルと 人間環境作業モデル	人間作業モデル(MOHO)・AMPS・MTDLP 他	橋内
5月14日	6	クリニカル・リーズニング①	クリニカル・リーズニングとは・作業療法におけるクリニカル・リーズニングの視点	橋内
5月21日	7	クリニカル・リーズニング②	クリニカル・リーズニングを用いた症例の検討	橋内
5月28日	8	作業療法士に求められる資質・適正	作業療法学生に期待されること、作業療法士に求められる知識・技術・態度、 生涯教育	川崎
6月4日	9	作業療法士の教育・臨床実習	臨床実習の意味、目的、卒後教育	川崎
6月11日	10	ICF・各理論まとめ	ICFの理解・実践、各理論・知識の再確認	川崎
6月18日	11	作業療法の実践課程	医療技術としての作業療法、作業療法の目的、実践課程	川崎
6月26日	12	各領域の作業療法①	作業療法の実際(身体機能分野ケーススタディー)	橋内
7月1日	13	各領域の作業療法②	作業療法の実際(精神機能分野ケーススタディー)	橋内
7月8日	14	各領域の作業療法③	作業療法の実際(発達過程分野ケーススタディー)	橋内
7月8日	15	各領域の作業療法④	作業療法の実際(高齢期分野ケーススタディー)	橋内
7月15日	16	まとめと評価	各理論の理解、知識の確認	川崎
教科書 参考書	標準作業療法学 専門分野 作業療法概論 第4版 医学書院			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】		基礎作業学		専門分野(1単位)		【講師名】		川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて13年実務経験	
【講義期間】		2年次前期				【対象学生】		第 2 学年 作業療法学科	
【時間数】		30時間 (2時間 15回)				【時間帯】		: ~ : (他時間割参照)	
授業 内容・目標		作業の備えている特性、人・対象者と作業の関係性を理解する。 作業の素材・工程・用具や実施のための安全管理を理解する。							
前提知識		基礎作業学演習Ⅰで行った各作業についての工程や作業の特性を理解している。							
【実施形態】		講義() 演習(○) 実習()							
到達目標		作業の分析と作業療法への応用の視点を身に付ける。							
成績評価 基準と方法			意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)	
	配分(%)		10			40	50		
	実施時期								
	補足								
	関心・意欲		○			○	○		
	知識・理解		○			○	○		
	思考・推論		○			○	○		
	実践・表現		○			○	○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
3月3日	1	作業とは	作業活動、コミュニケーションスキル、作業療法ガイドライン(OTPF)	沢田
4月10日	2	人と作業	作業活動とライフステージ・作業の階層	沢田
4月23日	3	包括的作業分析①	包括的作業分析の概要、作業の提供する本質	川崎
4月24日	4	包括的作業分析②	物づくり体験の課題解説①折り紙作品	川崎
4月24日	5	限定的作業分析①	限定的作業分析の概要、理論・モデルによる分析	川崎
5月1日	6	限定的作業分析②	限定的作業分析の実施(グループワーク)	川崎
5月1日	7	作業活動の実施計画立案	作業実習に向けた計画立案	川崎
6月12日	8	計画内容の実践・検証①	作品制作・援助計画	川崎
6月19日	9	計画内容の実践・検証②	作品制作・援助計画	川崎
6月26日	10	リズムタウン仙台(作業実習)①	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	川崎
6月26日	11	リズムタウン仙台(作業実習)①	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	川崎
6月27日	12	リズムタウン仙台(作業実習)②	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	川崎
6月27日	13	リズムタウン仙台(作業実習)②	対象者に合わせた作業遂行および観察/国試対策	川崎
7月7日	14	発表	作業と結果の特性	川崎
7月7日	15	発表	作業と結果の特性	川崎
教科書 参考書	資料配布予定			
授業に必要な物	事前に確認すること。 作業の際には適切な服装を準備すること。			
備考	校外学習(作業実習)の際は身だしなみに注意し、適切な服装で臨むこと(1年次のレク実習に準ずる)。			

【科目名】	臨床作業療法学	専門分野(1単位)	【講師名】	沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて12年実務経験 橋内駿(作業療法士):医療機関にて8年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第 2学年 作業療学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15 回)		【時間帯】	10:30 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	作業療法の評価や治療について復習する 臨床実習において主体的に行動できるよう準備する						
前提知識	作業療法に必要な検査・評価方法の理解						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	作業療法に必要な検査・評価方法を用いて、症例検討ができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		50		50		
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○		○	○	
	知識・理解	○	○		○	○	
	思考・推論	○	○		○	○	
	実践・表現	○	○		○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	臨床実習の概要について 記録について①	実習に必要な態度、接遇、マナー ケースノート、症例レポート	沢田
	2	作業療法評価計画立案 記録について② 食事動作	情報の整理、評価計画の立案 動画を用いた動作分析、作業療法記録の書き方、ケースノートの書き方	沢田
	3	記録について③ 整容動作	動画を用いた動作分析、作業療法記録の書き方、ケースノートの書き方	沢田
	4	記録について④ 起居・移乗動作	動画を用いた動作分析、作業療法記録の書き方、ケースノートの書き方	沢田
	5	記録について⑤ 更衣動作	動画を用いた動作分析、作業療法記録の書き方、ケースノートの書き方	沢田
	6	記録について⑥ トイレ動作	動画を用いた動作分析、作業療法記録の書き方、ケースノートの書き方	沢田
	7	記録について⑦ 歩行動作	動画を用いた動作分析、作業療法記録の書き方、ケースノートの書き方	沢田
	8	記録について⑧ 評価のまとめ	作業療法評価の整理、作業療法記録の書き方、ケースノートの書き方	沢田
	9	統合と解釈①	統合と解釈、ICFを用いた全体像の整理	橋内
	10	統合と解釈②	統合と解釈、ICFを用いた全体像の整理	橋内
	11	治療目標設定①	評価結果より、作業療法治療目標の設定	橋内
	12	治療目標設定②	評価結果より、作業療法治療目標の設定	橋内
	13	治療計画の立案①	治療プログラムの立案、考察	橋内
	補講	治療計画の立案②	文献をもとに、根拠のある治療プログラムを立案	OT先生方
	14	治療計画の立案④	治療プログラムの立案、考察	橋内
	補講	治療計画の立案③	文献をもとに、根拠のある治療プログラムを立案	OT先生方
	15	治療計画の立案④	治療プログラムの立案、考察	橋内
	16	試験	筆記試験 模擬試験の実施	橋内
教科書 参考書	各評価学・治療学のテキスト			
授業に必要な物	実技の際は動きやすい服装、各自パソコン、データ保存用USB			
備考	本科目は2年生の集大成の科目である。成績不良者は進級が難しいので留意すること。			

【科目名】	身体障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】	橋本円(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 吉田翔太(作業療法士):医療機関にて14年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年	作業療学科		
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	:	~	:	(他時間割参照)
授業 内容・目標	身体障害領域の評価の目的を理解したうえで実施し、記録することができる。						
前提知識	解剖学、運動学、生理学、日常生活援助技術Ⅰなど。						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	・作業療法評価の流れを理解する。 ・各疾患に対する評価の目的を理解する。 ・評価を適切に実施し、専門用語を用いて記録できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		90		10		
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現	○	○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月2日	1	評価の目的・手順	作業療法の流れ、評価の意味	吉田
4月2日	2	面接、観察	面接、観察	橋本
4月9日	3	腱反射・病的反射	腱反射・病的反射の概要、各反射の実技	吉田
4月16日	4	脳神経検査	脳神経検査のための基礎知識、各脳神経検査法	橋本
4月16日	5	嚥下機能・検査/知覚検査①	摂食・嚥下機能検査、表在感覚(触覚・痛覚)	橋本
4月21日	6	知覚検査②	深部感覚(位置覚・運動覚)	橋本
4月22日	補講	関節可動域検査・筋力検査	MMT・ROMの臨床的意義	吉田
4月22日	7	姿勢反射・筋緊張検査・各種測定	姿勢反射・筋緊張検査の概要、筋緊張検査実技	吉田
4月23日	8	バランス検査	FBS、FR、TUGなど	吉田
4月24日	9	姿勢の評価	重心の位置、多方面からの姿勢分析(シェーマ)	橋本
4月24日	10	上肢の骨折・末梢神経損傷/腱の評価	上腕～前腕～手指の骨折、腱について	橋本
5月2日	11	協調性検査	協調性検査の概要、失調症の分類、検査実技(指鼻試験、踵膝試験など)	吉田
5月9日	12	片麻痺機能検査①	Brunnstrom Stage、上田による片麻痺機能テスト、SIAS、FMAなど	吉田
5月9日	13	片麻痺機能検査②	Brunnstrom Stage、上田による片麻痺機能テスト、SIAS、FMAなど	吉田
5月19日	14	片麻痺機能検査③	Brunnstrom Stage、上田による片麻痺機能テスト、SIAS、FMAなど	吉田
5月28日	15	上肢機能検査①	MFT(講義・実技)	吉田
5月28日	16	上肢機能検査②	STEF(講義・実技)	吉田
6月2日	17	脊髄損傷の評価①	脊髄損傷の概要、Zancolliの分類、Frankelの分類	橋本
6月5日	18	脊髄損傷の評価②	脊髄損傷の評価(ASIA、SCIMなど)	橋本
6月12日	19	関節リウマチの評価	関節リウマチの基本的評価・ADL評価	橋本
6月20日	20	神経筋疾患の評価	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、ALS、ギランバレー症候群など	橋本
6月20日	21	脳血管障害の評価①	基本検査・評価の確認(OSCEに向けて)	橋本
7月1日	22	脳血管障害の評価②	ケーススタディー(樹形図の作成)	橋本
7月3日	23	脳血管障害の評価③	ケーススタディー(樹形図の作成)	橋本
7月31日	24	まとめと評価	評価の流れを理解しているか。検査の意義や方法を理解しているか。	橋本
教科書 参考書	標準作業療法学・作業療法評価学・第4版 ベッドサイドの神経の診かた			
授業に必要な物	PC・プロジェクター・他 事前に確認すること。 実技の際には、動きやすい服装を準備すること。			
備考				

【科目名】	身体障害作業療法学Ⅱ	専門分野(4単位)	【講師名】 安宅航太先生(作業療法士): 医療機関にて17年実務経験 櫻井 直人(作業療法士): 医療機関にて17年実務経験 橋本円(作業療法士): 医療機関にて15年実務経験 吉田翔太(作業療法士): 医療機関にて13年実務経験 橋内駿(作業療法士): 医療機関にて8年実務経験				
【講義期間】	2年次後期						
【時間数】	90時間 (2時間 45回)						
【対象学生】	第2学年 作業療学科		【時間帯】			9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)	
授業内容・目標	身体障害領域(運動器疾患・脳血管疾患・脊髄損傷・神経筋疾患)の各疾患に対する作業療法の専門的基礎知識および技術について理解を深める。基本的な作業療法の治療展開を知る。						
前提知識	解剖学、生理学に関する基礎知識。						
【実施形態】	講義(○)		演習(○)		実習()		
到達目標	各疾患の病態を理解し、障害像を説明できる。各疾患に対する評価と治療の流れを説明することが出来る。各疾患における作業療法士の役割を説明することが出来る。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		50	50			
	実施時期		当科目終了時	当科目実施中			
	補足						
	関心・意欲		○	○			
	知識・理解		○	○			
	思考・推論		○	○			
実践・表現			○				
授業計画							
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
C	1	脳血管障害の作業療法	脳画像のみかた				吉田(翔)
	2	脳血管障害の作業療法	脳画像のみかた				吉田(翔)
	3	脳血管障害と脳損傷	脳血管障害と脳損傷の分類				吉田(翔)
	4	筋緊張異常に対するアプローチ①	筋緊張弛緩、亜脱臼、アームスリング、肩の痛みの評価、促通				吉田(翔)
	5	筋緊張異常に対するアプローチ②	筋緊張亢進、抑制				吉田(翔)
	6	麻痺に対する作業療法①	抑制、促通、ポジショニング、装具				吉田(翔)
	7	麻痺に対する作業療法②	ステージに合わせた訓練、管理指導				吉田(翔)
	8	吸引①	吸引の基礎				櫻井
	9	吸引②	吸引の実際				櫻井
	10	急性期・亜急性期の作業療法	リスク管理、早期離床、ポジショニング、嚥下、ベッドサイドでの作業療法				吉田(翔)
	11	回復期の作業療法	ADL、ポジショニング				橋本
	12	退院支援	環境調整、IADL支援、退院前訪問、家族指導、カンファレンス				橋本
	13	維持期の作業療法	訪問リハ、通所リハ				橋本
	14	脳血管障害の作業療法	高次脳機能障害、就労支援、自動車運転への取り組みなど				吉田(翔)
	15	運動器疾患の治療①	橈骨遠位端骨折、上腕骨骨折、手指の骨折				橋内
	16	物理療法の基礎	ホットパック、パラフィン、アイシングなどの実践				橋内
	17	運動器疾患の治療②	屈筋腱損傷				橋内
	18	熱傷の作業療法	熱傷の評価、リスク管理、スプリント				橋内
	19	運動器疾患の治療③	関節可動域訓練の基礎、関節包内運動、自動運動、他動運動、自己他動運動				吉田(翔)
	20	関節リウマチの作業療法①	関節リウマチの病態、合併症、薬物療法、温熱療法				橋内
	21	運動器疾患の治療④	筋力トレーニングの基礎、等尺性収縮、等張性収縮				吉田(翔)
	22	運動器疾患の治療⑤	肩のリハビリテーション(腱板損傷、肩関節周囲炎等)				吉田(翔)
	23	運動器疾患の治療⑥	末梢神経損傷				橋本
	24	肩の痛みの治療	肩手症候群、CRPS、RSD				吉田(翔)
	25	関節リウマチの作業療法②	関節リウマチの運動療法、ADL指導、関節保護、自助具				橋内
	26	脊髄損傷の治療①	急性期、ゼンコリーの分類、ASIAの分類、フランケルの分類、バランス、ADL				吉田(翔)
	27	脊髄損傷の治療②	テノデシスアクション、CKC、OKC、脊損の疑似ADL体験、社会復帰				吉田(翔)
	28	神経・筋疾患の作業療法①	パーキンソン病の病態、評価、治療目標				橋内
	29	神経・筋疾患の作業療法②	パーキンソン病の運動療法、ADL指導、福祉機器導入				橋内
	30	神経・筋疾患の作業療法③	筋萎縮性側索硬化症の病態、治療の基礎				橋内
	31	神経・筋疾患の作業療法④	筋萎縮性側索硬化症のADL指導、OTの役割				橋内
	32	神経・筋疾患の作業療法⑤	多発性硬化症、ギランバレー症候群のOTの役割、ADL指導				橋内
	33	神経・筋疾患の作業療法⑥	脊髄小脳変性症のOTの役割、ADL指導				橋内
	34	神経・筋疾患の作業療法⑦	その他の疾患について、実技試験対策				橋内
	35	総復習	授業の復習、実技試験対策				橋内
	36	実技試験(OSCE-1)	面接				OT教員
	37	実技試験(OSCE-1)	面接				OT教員
	38	実技試験(OSCE-2)	Brs、知覚検査、筋緊張検査				OT教員
	39	実技試験(OSCE-2)	Brs、知覚検査、筋緊張検査				OT教員
	40	実技試験(OSCE-3)	ROM,MMT				OT教員
	41	実技試験(OSCE-3)	ROM,MMT				OT教員
	42	実技試験(OSCE-4)	高次脳機能検査、ADL評価				OT教員
	43	実技試験(OSCE-4)	高次脳機能検査、ADL評価				OT教員
	44	脳血管障害の作業療法	作業療法の実際、CI療法など				安宅先生
	45	脳血管障害の作業療法	作業療法の実際、CI療法など				安宅先生
	46	まとめと評価	各疾患の基礎知識および評価と治療の理解の確認および説明の実施				OT教員
教科書・参考書	標準作業療法「身体機能作業療法」、標準整形外科学、病気が見えるシリーズ(その都度確認)						
授業に必要な物	PC、プロジェクターなどを準備。実技では動きやすい服装。実技試験時は実習同様のケースや靴を着用し、身だしなみを整えること。						
備考							

【科目名】	精神障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】	木村良輔先生(作業療法士):医療機関にて19年実務経験 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて13年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2 学年 作業療学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)			
授業 内容・目標	精神障害の作業療法評価について、実践的評価練習を通して理解する。						
前提知識							
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	精神障害の作業療法評価について理解し、正しい方法で実施することができる。 評価した項目について、専門用語を用いて報告することができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○	○			○	
	思考・推論	○	○			○	
	実践・表現	○	○			○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月1日	1	精神障害作業療法・概論	精神保健医療福祉の動向と作業療法士の役割	沢田
4月8日	2	精神機能の作業療法評価の基礎	評価の目的と留意点・評価のプロセス・評価の方法	沢田
4月22日	3	面接と観察・評価の実際	情報収集の目的と留意点・情報収集の方法・間接的情報収集・直接的情報収集(観察・面接)・ウォッチングリスト・生活機能観察リスト 他	川崎
4月30日	4	面接と観察・評価の実際②	情報収集の目的と留意点・情報収集の方法・間接的情報収集・直接的情報収集(観察・面接)・ウォッチングリスト・生活機能観察リスト 他	川崎
5月7日	5	情報収集と他職種とのチームアプローチ	他職種からの情報収集・チームアプローチ・対人パターンチェックリスト 他	川崎
5月14日	6	疾患別の評価①	統合失調症・気分障害(BACS-J, UBOM, ISDA)	川崎
5月21日	7	疾患別の評価②	神経症性障害・人格障害(パーソナリティ障害)	川崎
5月27日	8	精神科作業療法の評価	症例検討、評価の解釈、ICF	川崎
5月31日	9	疾患別の評価③	小児・児童・器質性精神障害	木村先生
6月3日	10	OT計画の立案①	作業療法の計画・個人プログラム 他	木村先生
6月10日	11	OT計画の立案②	目標・計画・ICF・作業活動 他	木村先生
6月10日	12	生活の支援	ADL・環境・就労 他	木村先生
6月17日	13	理論・モデル	精神認知機能障害に対する作業療法の理論・モデル・関連療法	木村先生
6月17日	14	グループワーク・ロールプレイ	作業療法の実際	木村先生
6月24日	15	集団における評価	集団内における個人を対象とした評価・集団を対象とした評価・集団構造の評価 他	木村先生
7月3日	16	まとめと評価	精神科領域における作業療法の特徴の理解、知識の確認	川崎
教科書 参考書	精神障害と作業療法 新版 山根寛 著(三輪書店) 生活を支援する精神障害作業療法 急性期から地域実践まで 第2版 香山明美 他編(医歯薬出版) 作業療法評価学 第3版 能登真一 他編(医学書院)			
授業に必要な物	PC・プロジェクター・他 事前に確認すること			
備考				

【科目名】	精神障害作業療法学Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】	木村良輔先生(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 沢田泉紀(作業療法士):医療機関にて12年実務経験			
【講義期間】	2 年次後期		【対象学生】	第 2 学年 作業療学科			
【時間数】	45 時間 (2時間 23 回)		【時間帯】	9 :00 ~ 12 : 10 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	精神障害領域における作業療法の評価および治療について理解する。						
前提知識	精神医学に関する基礎知識。 前期に学習した精神障害作業療法評価学の内容。						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	各疾患の病態を理解し、症状および特徴を説明できる。 各疾患に対する作業療法士の役割を説明することができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		90		5	5	
	実施時期		当科目終了時		適宜	授業時	
	補足					積極性・協調性	
	関心・意欲	○	○		○	○	
	知識・理解	○	○		○	○	
	思考・推論	○	○		○	○	
	実践・表現	○	○		○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	臨床実習に向けて①	臨床実習の流れとポイント・自己理解	沢田
	2	臨床実習に向けて②	臨床実習の流れとポイント・ケースノート・ディリーノート・レポート項目	沢田
	3	治療構造について	OTの実際・チーム医療等	木村先生
	4	作業療法各論①	統合失調症の作業療法	木村先生
	5	作業療法各論②	統合失調症の作業療法	木村先生
	6	作業療法各論③	物質依存	木村先生
	7	作業療法各論④	てんかん・部分発作・全般発作、作業療法評価と治療・発作の症状と対応	木村先生
	8	地域と生活支援	多職種との連携・包括型地域生活支援プログラム(ACT) 地域生活支援のプロセス	木村先生
	9	社会生活技能訓練(SST) ①	ロールプレイを通してSSTの技法を学ぶ	沢田
	10	社会生活技能訓練(SST) ②	ロールプレイを通してSSTの技法を学ぶ	沢田
	11	器質性精神障害	認知症の特徴と症状・作業療法介入の実際:前頭側頭型認知症・ Alzheimer型認知症・Lewy小体型認知症・脳血管性認知症	木村先生
	12	神経症圏の作業療法①	身体表現(神経症)性障害の症状と対応・PTSD・パニック障害	木村先生
	13	神経症圏の作業療法②	解離性(転換性)障害・強迫性障害	木村先生
	14	気分障害	気分障害:症状と特徴・作業療法	木村先生
	15	摂食障害	摂食障害:症状と特徴・作業療法	木村先生
	16	個人・集団について	レクリエーション:企画と実践①	木村先生
	17	個人・集団について	レクリエーション:企画と実践②	木村先生
	18	パーソナリティ障害	障害の特徴と作業療法	木村先生
	19	児童期・老年期の精神障害	各期における精神的問題の特徴と作業療法の支援、老年期うつ	木村先生
	20	臨床実習に向けて③	対象者の作業、行動観察、作業療法記録の書き方	沢田
	21	臨床実習に向けて④	対象者の作業、行動観察、作業療法記録の書き方	沢田
	22	国家試験対策①	臨床医学:臨床心理、精神医学	沢田
	23	国家試験対策②	疾患別:評価と治療に関する問題	沢田
	24	まとめと評価	精神障害作業療法の基礎知識の確認。精神障害領域における作業療法の対象疾患・特徴と対応の理解についての確認。	沢田
教科書 参考書	教科書・・・「精神障害と作業療法 新版」・「作業療法評価学 第3版」 参考書・・・「ひとと作業・作業活動」			
授業に必要な物	PC・プロジェクター(担当講師・教員にその都度確認すること) 個人パソコンを持参し、ケースノートの作成も行う			
備考				

【科目名】	発達障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】 道又 顕 先生(作業療法士):医療機関にて22年実務経験				
【講義期間】	2年次前期		【対象学生 第2学年 作業療学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)				
授業 内容・目標	発達障害領域の評価の目的を理解し、実施できる。						
前提知識	解剖学、運動学、人間発達学など。						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	・発達障害について理解する。 ・発達障害領域での作業療法の目的と役割を理解する。 ・発達領域で行う検査・評価を理解し適切に実施できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		16回目				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
3月11日	1	発達障害領域の評価	オリエンテーション、評価について	道又先生
4月1日	2	発達過程作業療法の基礎1	理念と目的	道又先生
4月11日	3	発達過程作業療法の基礎2	形成(歴史)と変遷	道又先生
4月11日	4	発達過程作業療法の基礎3	人間の発達過程①	道又先生
4月18日	5	発達過程作業療法の基礎4	人間の発達過程②	道又先生
4月18日	6	発達過程作業療法の基礎5	対象疾患と発達遅滞症状	道又先生
5月15日	7	発達過程作業療法の基礎6	関連する法規・制度、作業療法士の役割	道又先生
5月15日	8	発達過程作業療法学	実践現場と実践課程および記録①	道又先生
5月23日	9	発達過程作業療法学	実践現場と実践課程および記録②	道又先生
5月23日	10	発達過程作業療法の地域支援	地域支援の実際	道又先生
5月30日	11	検査法各論①	JDDST-R、遠城寺式乳幼児分析発達検査など	道又先生
5月30日	12	検査法各論②	GMFCS、MACSなど	道又先生
6月3日	13	検査法各論③	知能検査、IQ、心理検査など	道又先生
6月3日	14	検査法各論④	国家試験対策、小テスト	道又先生
6月13日	15	総復習	授業の総まとめ	道又先生
7月10日	16	まとめと評価	発達障害領域における評価の目的と各種検査が理解できる	内部教員
教科書 参考書	標準作業療法学 発達過程作業療法学 第3版 医学書院 標準作業療法学 作業療法評価学・身体障害作業療法学 医学書院			
授業に必要な物	準備担当者は事前に確認をすること。PC、プロジェクターを必要に応じて準備。			
備考				

【科目名】	発達障害作業療法学Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】 道又顕先生(作業療法士):医療機関にて21年実務経験				
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第 2 学年	作業療学科		
【時間数】	30 時間 (2時間 15回)		【時間帯】	13:30	～	16: 40	(他時間割参照)
授業 内容・目標	発達障害領域における作業療法の展開や治療を説明できる。						
前提知識	人間発達学・運動学の基礎知識(原始反射、運動発達、認知機能の発達など)。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	各疾患の病態を理解し、障害像を説明できる。 各疾患に対する評価と治療の流れを説明することが出来る。 各疾患における作業療法士の役割を説明することが出来る。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現						

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	発達過程作業療法学の基礎	発達過程における作業療法の対象疾患について 発達過程作業療法に関連する法規・制度 作業療法の目的と役割と視点について	道又先生
	2	実践現場と実践課程、地域支援	地域支援システム、ライフサイクルについて 発達領域における作業療法の評価と治療の流れ	道又先生
	3	新生児疾患	NICU対象児(低体重など)	道又先生
	4	新生児疾患	NICU対象児(低体重など)	道又先生
	5	知的障害	知的障害、精神発達遅滞・学習障害の特徴と治療の実践	道又先生
	6	知的障害	知的障害、精神発達遅滞・学習障害の特徴と治療の実践	道又先生
	7	神経発達症群/神経発達障害群	ASD・ADHD・SLD・DCDの病態、心理・教育的支援 作業療法評価と実践	道又先生
	8	神経発達症群/神経発達障害群	ASD・ADHD・SLD・DCDの病態、心理・教育的支援 作業療法評価と実践	道又先生
	9	発達過程作業療法における検査	発達過程作業療法の基礎知識の確認。 発達過程における作業療法の対象疾患の特徴と分類の説明。 用いる検査の確認。	道又先生
	10	筋ジストロフィー	筋ジストロフィーの病態および分類、合併症、評価と治療の流れ	道又先生
	11	二分脊椎	二分脊椎の病態と医学的治療、合併症、評価と治療の流れ	道又先生
	12	その他の疾患	その他(強度行動障害、頭部外傷に伴う高次脳機能障害、 骨関節疾患、内部障害、小児がん)	道又先生
	13	脳性麻痺	脳性麻痺の病態、医学的治療、評価と治療の実践	道又先生
	14	重症心身障害児	重症心身障害の病態、特徴 重傷心身障害の合併症や全体像 ADL支援	道又先生
	15	総復習	授業の総まとめ 国家試験対策	道又先生
	16	まとめと評価	発達過程作業療法の基礎知識の確認。 発達過程における作業療法の対象疾患の特徴と分類の説明。 リハビリテーションの流れと評価治療の関連性について確認。	OT教員
教科書 参考書	標準作業療法学「発達過程作業療法学」 標準作業療法学「作業療法評価学」			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考				

【科目名】	老年期障害作業療法学Ⅰ	専門分野(2単位)	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 橋本円(作業療法士):医療機関にて16年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2 学年 作業療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	:	~	:	(他時間割参照)
授業 内容・目標	老年期の障害・評価を理解を理解する						
前提知識	解剖学・運動学・生理学など						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習()				
到達目標	老年期の障害・評価を理解し、評価ができるようになる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現	○	○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月3日	1	各論① 高齢者に多い疾患(呼吸器・循環器疾患)①	心室中隔欠損・ファロー4徴候、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、心不全(右心不全・左心不全)、不整脈	櫻井
4月10日	2	各論① 高齢者に多い疾患(呼吸器・循環器疾患)②	肺性心、COPD、間質性肺炎、肺癌、血圧異常(高血圧、低血圧)	櫻井
4月15日	3	各論② 高齢者に多い疾患(呼吸器・循環器疾患)③	感染性呼吸器疾患(肺炎・誤嚥性肺炎・肺結核)、静脈血栓症と肺塞栓	櫻井
4月17日	4	各論③神経系疾患(OVA、PD、末梢神経障害)	脳血管障害(脳出血・脳梗塞・くも膜下出血)、一過性脳虚血発作(TIA)、変性疾患(パーキンソン病)	櫻井
5月1日	5	各論④運動器(骨・骨格筋)疾患	骨粗鬆症、変形性関節症(OA 変形性膝・股関節症)、変形性脊椎症、関節リウマチ(RA)、後縦靱帯骨化症	櫻井
5月8日	6	各論⑤内分泌代謝疾患	糖尿病(DM)、脂質異常症、甲状腺疾患	櫻井
5月13日	7	各論⑥精神疾患、皮膚疾患、眼疾患	せん妄、老年期うつ病、老年期神経症、老年期パーソナリティ障害	櫻井
5月15日	8	高齢者に多い疾患のまとめ	1回～8回のまとめ	櫻井
5月20日	9	ケーススタディー①	症例についてグループに分かれて意見交換する	櫻井
5月22日	10	介護予防支援事業対策①	握力測定、FBS計測練習	櫻井
5月29日	11	介護予防支援事業対策②	自主トレーニングを継続して行えるようにするには課題の提示を考える	櫻井
6月9日	12	高齢社会、高齢期の課題	高齢者の定義、高齢社会とは、出生率、加齢と老化、高齢化について 高齢期の心身の特徴、高齢期における発達、高齢者の生きがい、高齢者の就業、高齢期の社会活動、地域包括ケアシステム	橋本
6月12日	13	社会制度	社会保障制度、介護保険法(住宅改修、福祉用具貸与他)、後期高齢者医療制度、生活保護、成年後見制度、高齢者虐待防止法	橋本
6月17日	14	高齢期の一般的特徴(老化とは)	循環器、呼吸器、消化器系、腎機能、排泄機能、内分泌系の加齢変化	橋本
6月18日	15	高齢期の一般的特徴(高齢者の生理的・身体的特徴)	体温調整機能、血液および造血系、生殖系、視覚、聴覚、味覚、体性感覚、運動器系の加齢変化	橋本
6月23日	16	高齢期の一般的特徴(老年症候群)①	老年症候群とは、不眠、低栄養について、摂食・嚥下、尿失禁、褥瘡	橋本
6月30日	17	高齢期の一般的特徴(老年症候群)②	廃用症候群、サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドローム	橋本
7月2日	18	高齢期の一般的特徴(高齢期の精神的・心理的特徴)	高齢期作業療法の役割と機能、高齢期作業療法の目的、日常生活での介入ポイント	橋本
7月10日	19	高齢期の一般的特徴(高齢期の精神的・心理的特徴)	高齢者の自動車免許について、初老期および老年期うつ、高齢者の認知機能	橋本
7月11日	20	認知症	認知症とは、MCI、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症について	橋本
7月16日	21	認知症の評価	評価の基礎、HDS-R、MMSE、パラチェック老人行動評価、国立精神研究センタースクリーニングテスト、柄澤式老人知能の臨床的判定基準、GBSスケール、NMスケール、N-ADL、障害老人の日常生活自立度判定基準、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準、CDR、BPSDの評価(NPI、DBD、Behave AD)	橋本
7月17日	22	ケーススタディー②	高齢期の作業療法の目的・役割と機能症例についてグループに分かれて意見交換する	橋本
7月25日	23	総復習	授業の総まとめ	橋本
8月1日	24	まとめと評価		橋本
教科書 参考書	標準作業療法学 高齢期作業療法学 医学書院 病気がみえるシリーズ「循環器」「呼吸器」「脳・神経」「整形外科」			
授業に必要な物	PC、プロジェクター			
備考	グループに分かれて介護予防教室参加予定。介護予防支援事業対策①②では介護予防教室での体力測定の準備(練習)を行う。			

【科目名】	老年期障害作業療法学Ⅱ	専門分野(2単位)	【講師名】	橋本 円(作業療法士):医療機関にて15年実務経験 櫻井 直人(作業療法士):医療機関にて17年実務経験			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第 2学年 作業療学科			
【時間数】	45時間 (時間 23 回)		【時間帯】	13 :00 ~ 14:40 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	老年期の作業療法アプローチについて学び、理解する。						
前提知識	前期の老年期作業療法評価学の内容の理解。						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	老年期障害の作業療法実施時の注意点、リスク管理の把握、介入方法について説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				

授業計画

日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	介護予防教室プログラム作成①	介護予防教室の評価復習、プログラム作成	橋本
	2	介護予防教室プログラム作成②	介護予防教室の評価復習、プログラム作成	橋本
	3	介護予防教室プログラム作成③	介護予防教室の評価復習、プログラム作成	橋本
	4	介護予防教室プログラム作成④	介護予防教室プログラム発表	橋本
	5	内部障害①(呼吸器)	換気障害の理解、I型・2型呼吸不全、急性・慢性呼吸不全	櫻井
	6	内部障害②(呼吸器)	換気機能検査(スパイログラム、努力肺活量など)酸と塩基、pH、アシドーシス、アルカローシス(呼吸性・代謝性)等の理解	櫻井
	7	内部障害③(呼吸器)	動脈血液ガスの正常値と異常値、ボーア(Bohr)効果等の理解、パルスオキシメーターの活用方法等の理解、呼吸調節とCO2ナルコーシスの理解	櫻井
	8	音楽療法①	ミュージックセラピー(回想法)の効果について①	櫻井
	9	音楽療法②	ミュージックセラピー(回想法)の効果について②	櫻井
	10	内部障害④(呼吸器)	呼吸リハビリテーションの実際、運動療法の構成要素、PEEP、NPPV(CPAPなど)、VAP(VALI)等の理解、排痰療法など	櫻井
	11	内部障害⑤(循環器)	虚血性心疾患(狭心症・心疾患)の理解、不整脈の理解	櫻井
	12	内部障害⑥(循環器)	心電図の理解(伝導路との関係)、CTR、心不全の機能分類(NYHA)等の理解	櫻井
	13	がんの作業療法	がんの作業療法、介入時のリスク管理。	橋本
	14	リンパ浮腫の作業療法	リンパ浮腫(合併症、スキンケア、リンパドレナージ、多層包帯法、圧迫療法、複合的治療、日常生活指導)。	橋本
	15	起立性低血圧・褥瘡・転倒予防について	起立性低血圧の原因・離床時の注意点。褥瘡の原因、予防策等。転倒と予防。	橋本
	16	内部障害⑦(循環器)	心臓のリハビリテーションの実際(具体的なリスク管理)	櫻井
	17	内部障害⑧(糖尿病)	糖尿病の病態の理解	櫻井
	18	内部障害⑨(糖尿病)	糖尿病の合併症①(微小血管障害)	櫻井
	20	内部障害⑩(糖尿病)	糖尿病の合併症②(大血管障害)	櫻井
	19	認知症作業療法の実践	認知症への対応について。BPSDとその対応。リアリティーオリエンテーション。回想法。環境調整。導入時の注意、作業活動の選択。	橋本
	21	内部障害⑪(糖尿病)	糖尿病のリハビリテーションの実際(具体的なリスク管理)	櫻井
	22	認知症と骨折(大腿骨の骨折と術式など)	Garden分類、人工骨頭置換術、CHS、γネイル、術後リハビリテーション	橋本
	23	認知症とADL(大腿骨の骨折など)	人工骨頭置換術後のADL指導。	橋本
	24	まとめと評価	各疾患の基礎知識および作業療法の評価と治療の理解の確認および説明の実施	橋本
教科書 参考書	作業療法学全書『高齢期作業療法学』、標準作業療法学『作業療法評価学』 標準作業療法学『身体機能作業療法学』			
授業に必要な物	プロジェクター・PC・その他			
備考	9グループに分かれて介護予防教室参加予定。介護予防教室プログラム作成①～④では介護予防教室で提示予定の内容を検討する。			

【科目名】	高次神経障害作業療法学Ⅰ	専門分野(1単位)	【講師名】	橋内駿(作業療法士):医療機関にて9年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2 学年	作業療法学科		
【時間数】	15時間 (時間 8回)		【時間帯】	: ~ :	(他時間割参照)		
授業 内容・目標	高次脳機能障害の特徴と、行動に与える影響について学ぶ。各種検査の解釈について理解する。						
前提知識	運動学、解剖学、生理学						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	神経疾患あるいは脳損傷による意識、情動、注意、記憶、言語、遂行機能、行為、空間認知、知覚(視覚、聴覚、体性感覚など)などさまざまな心理過程の障害を正確に把握し、その土台にある大脳の働きを究め、障害治療を進めることができる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		9回目				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解		○				
	思考・推論	○					
	実践・表現	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
3月3日	1	高次脳機能障害とは	高次脳機能とは？高次脳機能障害の特徴と原因疾患	橋内
4月7日	2	注意障害	注意障害と損傷部位。注意障害の症状と評価。全般的注意障害、方向性注意障害。検査(CAT,TMT, BIT,CBS,レーブン色彩マトリックス検査Fluff test、Comb and razor/compact test、Vest test)	橋内
4月8日	3	記憶障害	記憶障害と損傷部位。記憶障害の症状と評価(WMS-R,RBMT,三宅式記銘力検査,ペントン視覚記名検査,レイ・オストリッチの複雑図,RAVLT)	橋内
4月9日	4	失語症	失語症と損傷部位。失語症の症状と評価。検査(SLTA,WAB,CADL)	橋内
4月15日	5	失行・失認	失行・失認と損傷部位。失行の症状と評価。検査(SPTA)・失認の症状と評価。検査(VPTA)	橋内
4月16日	6	遂行機能障害・社会的行動障害	遂行機能障害・社会的行動障害と損傷部位。遂行機能障害の症状と評価。検査(BADS,WCST)	橋内
4月17日	7	その他症状、検査	パリント症候群,ゲルストマン症候群,WAIS-Ⅲ,描画等	橋内
4月30日	8	総復習	授業の総まとめ	橋内
5月7日	9	まとめと評価	高次脳機能評価に関する基礎知識の確認	橋内
教科書 参考書	標準作業療法学 高次脳機能障害作業療法学第2版(医学書院) 病気が見える Vol⑦ 脳・神経			
授業に必要な物	PC、プロジェクターその他			
備考				

【科目名】	高次神経障害作業療法学Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】	橋内駿(作業療法士):医療機関にて9年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2 学年 作業療学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	14:40 ~ 16:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	高次神経障害の特徴と、作業行動に与える影響について学ぶ。高次神経障害の症状に応じた評価法、治療・指導・援助方法について学ぶ。						
前提知識	中枢神経系に関する解剖・生理学の基礎知識。2年前期に学んだ高次神経障害作業療法治療学の内容。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	神経疾患あるいは脳損傷による注意、記憶、言語、遂行機能、行為、空間認知、社会的行動のメカニズムを正確に把握し、評価・解釈・説明をすることができる。また症状別に治療を説明することができる。脳画像から予測される高次脳機能障害を推測できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	4回目(30)と 科目終了時(70)				
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
5月20日	1	高次脳機能障害(前期の復習)① 注意障害(方向性・全般性)、記憶障害の理解とその検査方法(WEB)	検査方法(BIT、TMTなど)、ADL場面の評価(OBS)、記憶のプロセス、保持時間の分類、記憶障害の分類と検査方法(HDS-R、MMSE、WAIS-R、WAIS-III、三宅式記憶力検査、レイの複雑図形模写など)、コルサコフ症候群	橋内
5月22日	2	高次脳機能障害(前期の復習)② 失語症、失行、失認の理解とその検査方法	失語症の分類(症状)と、検査方法(SLTA、WABなど)、失行症の理解と標準的な検査方法(SPTAなど)、失行症のADLの障害例、失認症の分類(症状)と検査方法(VPTAなど)、ゲルストマン症候群とパリント症候群の理解	橋内
5月27日	3	高次脳機能障害(前期の復習)③ 遂行機能障害、社会行動障害の理解とその検査方法	概念化とワーキングメモリーについて、ワーキングメモリーの中核、遂行機能の検査方法(WCST、FAB、BADS、ハノイの塔など)、脳損傷後の性格変容の特徴、社会的行動障害の分類、脳の損傷部位から想定される検査方法	橋内
6月4日	4	まとめと評価①	高次脳機能障害(前期の復習)①～③の内容の小テストを実施。 ※本試験の30点分の加算	橋内
6月11日	5	高次脳機能障害評価①	検査の目的、方法について(①BADS②リバーミッド行動記憶検査③BIT④VPTA⑤MMSE、FAB、WCST、⑥WAISについて)	橋内
6月18日	6	高次脳機能障害評価②	前回学習した①～⑥の評価について⑥班に分かれて、説明書、検査道具を使用しながら実際の使用の仕方を説明し、発表できるように話し合う。	橋内
6月18日	7	高次脳機能障害評価③	前回学習した①～⑥の評価について6班に分かれて、発表できるように話し合う。	橋内
6月23日	8	高次脳機能障害評価④	各班から担当した検査の実施方法について発表する。	橋内
6月23日	9	高次脳機能障害評価⑤	各班から担当した検査の実施方法について発表する。	橋内
7月2日	10	高次脳機能障害の具体的介入(直接介入と間接介入)①	記憶障害(内的記憶戦略法、間隔伸張法、誤りなし学習、メモリーノート等外的補助)・注意障害・半側空間無視(プリズム適応療法、感覚刺激入力、代償方法)への介入・生活指導。	橋内
7月3日	11	高次脳機能障害の具体的介入(直接介入と間接介入)②	失語(純粋失読・運動覚覚通法、MOR法)・失行(模倣動作訓練、代償訓練)・失認(物体失認、色彩失認)への介入、生活指導。	橋内
7月9日	12	高次脳機能障害の具体的介入(直接介入と間接介入)③	遂行機能障害(直接訓練、自己教示、工程分析や簡略化、外的補助)・社会的行動障害(認知行動療法)・地誌的障害(地図上での道順記載)への介入、生活指導。	橋内
7月9日	13	検査バッテリーの選択とカットオフ値	各検査の目的と意味、どのように考えて検査を導入するか?選択方法を考える。	橋内
7月14日	14	ケーススタディー	症例から介入方法を考えていく。	橋内
7月14日	15	ケーススタディー	症例から介入方法を考えていく。	橋内
7月25日	16	まとめと評価②	各疾患の基礎知識および作業療法の評価と治療の理解の確認および説明の実施	橋内
教科書 参考書	標準作業療法学「高次脳機能作業療法学」第2版 標準作業療法学「作業療法評価学」			
授業に必要な物	PC、プロジェクターその他			
備考	わからないことがあった場合は、可能な限り早めに質問をし、理解をしながら進めていくよう心掛ける。			

【科目名】	日常生活援助技術Ⅱ	専門分野(1単位)	【講師名】	吉田 翔太(作業療法士):医療機関にて14年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第 2 学年 作業療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	:	~	:	(他時間割参照)
授業 内容・目標	ひとの生活と日常生活活動・生活行為について理解する。ADLの評価について理解する。						
前提知識	日常生活援助技術Ⅰの知識						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	ADLの構成要素について分析し、ADL評価を実施できる。 評価結果を専門用語を用いて報告できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
3月2日	1	日常生活動作総論・ICF	ICIDHとICF, ADLとIADL, 動作中の観察方法 他	吉田
4月14日	2	ADLの分類と評価表	FIM, BI, Wee FIM, CHART-J, ESCROW Profiles, 老研式活動能力指標, 認知症高齢者の日常生活自立度の判定基準 他	吉田
4月23日	3	ADLの評価 BI/FIM	BI(Barthel Index):特徴・評価項目・評価方法 FIM(Functional Independence Measure):特徴・評価項目	吉田
4月30日	4	ADLの評価 FIM(運動項目)	ADL評価, FIM(運動項目)の採点基準・原則, セルフケアの採点方法①	吉田
5月7日	5	ADLの評価 FIM(運動項目)	ADL評価, FIM(運動項目)の採点基準・原則の復習, セルフケアの採点方法②, 排泄コントロール, 移動	吉田
5月14日	6	ADLの評価 FIM(運動項目)	ADL評価, FIM(運動項目)の採点基準・原則, セルフケアの採点方法③, 移乗, FIM演習(運動項目に関するもの)	吉田
5月21日	7	ADLの評価 FIM(認知項目)	ADL評価, FIM(認知項目)の採点基準・原則, コミュニケーション(理解・表出)	吉田
5月26日	8	ADLの評価 FIM(認知項目)・演習	ADL評価, FIM(認知項目)の採点基準・原則復習, 社会的認知(社会的交流・問題解決・記憶), 演習:FIMを活用した症例のADL評価	吉田
5月27日	9	身体機能のADL～起居・移動・食事～CVA	基本動作の評価～構成要素と動作練習(基礎練習・部分練習・全体練習) 食事動作の工程, 食事動作を阻害する原因とは, 食事における上肢機能 他	吉田
6月6日	10	身体機能のADL～更衣～CVA	更衣の工程と構成要素, 衣服の各名称 更衣練習の進め方・指導方法(前開き・かぶり・ズボン・靴下・装具)	吉田
6月16日	11	身体機能のADL～排泄～CVA	排泄活動とは, 排泄活動の手順と構成要素, 評価の視点と方法 評価の解釈と支援計画の立案, 環境整備	吉田
6月17日	12	身体機能のADL～整容・入浴～CVA	整容動作の特徴・構成要素, 評価の視点・観察, 支援方法 入浴の目的, 入浴にかかわる要素, 入浴の評価と支援方法	吉田
6月24日	13	身体機能のADL～その他CVAを中心に～	運動器障害・整形外科疾患のADL・病期によるADLのポイント ADLにおける修復組織別の注意点	吉田
6月30日	14	精神機能のADL	生活活動の観察, 活動(日常生活)機能観察リスト 疾患別ADL(行動の特徴と評価・観察の視点)	吉田
7月8日	15	総復習	授業の総まとめ	吉田
7月23日	16	まとめと評価	教科書・配布資料・授業内に実施した演習問題をよく復習しておくこと	吉田
教科書 参考書	標準作業療法学 専門分野 日常生活活動・社会生活行為学 ㈱医学書院 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 ㈱医学書院			
授業に必要な物	必要物品は事前に確認すること。 授業資料は継続して使用します。前回までの資料も必ず持参してください。			
備考				

【科目名】	福祉機器活用援助技術Ⅰ	専門分野(1単位)	【講師名】 橋本円(作業療法士):医療機関にて16年実務経験 橋内駿(作業療法士):医療機関にて9年実務経験					
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】 第 2学年 作業療法学科					
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】 : ~ : (他時間割参照)					
授業内容・目標	脳血管障害者や高齢者、脊髄損傷者などの疾患の身体機能に応じた福祉機器適合・導入の方法、使用方法について説明できる							
前提知識	脳血管障害や脊髄損傷、進行性疾患などの病態の理解。高齢者の特徴。							
【実施形態】	講義()		演習(○)		実習()			
到達目標	義肢の種類と適応を理解し、OTアプローチを説明できる。							
成績評価基準と方法			意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
		配分(%)		100				
		実施時期	平時	当科目終了時				
		補足						
		関心・意欲	○	○				
		知識・理解		○				
		思考・推論		○				
		実践・表現		○				
授業計画								
1付	回数	テーマ			講義内容・キーワード			講師
4月9日	1	作業療法と環境整備			住環境とは?、住環境整備、福祉用具総論、福祉用具導入に必要な評価項目、福祉用具が備えるべき基本条件			橋内
4月16日	2	介護保険法			介護保険制度について、介護保険における住環境整備について、介護保険における福祉用具について			橋内
4月21日	3	起居動作と福祉機器①			移動用バー各種・歩行器・杖各種 (実技含)			橋本
4月28日	4	起居動作と福祉機器②			ベッド・車椅子・トランスファーボード (実技含)・リフター			橋内
5月7日	5	ADLと福祉機器			入浴・更衣・整容関連の福祉機器・用具			橋本
5月8日	6	ADLと福祉機器			食事・排泄・家事関連の福祉機器・用具			橋本
5月12日	7	ポジショニング			ポジショニングの基本(姿勢別に実技)			橋本
5月13日	8	ポジショニング			ポジショニングの基本(姿勢別に実技)			橋本
5月20日	9	見取り図の記載			自宅見取り図の記載			橋内
5月21日	10	疾患別の作業介入①			脳性麻痺関連の住環境整備および福祉機器			橋本
5月28日	11	疾患別の作業介入②			脳血管障害関連の住環境整備および福祉機器			橋本
5月29日	12	疾患別の作業介入③			関節リウマチ関連の住環境整備および福祉機器			橋内
6月2日	13	疾患別の作業介入④			進行性疾患関連の住環境整備および福祉機器			橋内
6月4日	14	疾患別の作業介入⑤			脊髄損傷関連の住環境整備および福祉機器			橋内
6月9日	15	総復習			授業のまとめ			橋内
6月16日	16	まとめと評価			福祉機器の名称や導入目的が理解できる。住環境整備や福祉機器の導入に関わる基本を確認。各疾患の特徴に合わせて福祉機器を選択できる。関連のある制度の基本が説明できる。			橋内
教科書・参考書	「作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備」							
授業に必要な物	PC、プロジェクター							
備考	実技を行う際は、動きやすい服装を準備すること。							

【科目名】	義肢活用援助技術	専門分野(1単位)	【講師名】 宮内博之先生(義肢装具士) 川崎加奈(作業療法士):医療機関にて18年実務経験 橋本円(作業療法士):医療機関にて16年実務経験				
【講義期間】	2年次前期	【対象学生】	第 2学年 作業療学科				
【時間数】	30時間 (2時間 15回)	【時間帯】	: ~ : (他時間割参照)				
授業内容・目標	解剖学・運動学の視点を持ちながら義肢装具の機能と適応を学ぶ。 スプリントの作製方法を学ぶ。						
前提知識	解剖学・基礎運動学						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	義肢の種類と適応を理解し、OTアプローチを説明できる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○	○				
	実践・表現	○	○				
授業計画							
1付	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
	1	切断 総論	切断とは 切断の原因 切断と呼称 他				橋本
	2	義手 総論	義手の種類・構造と部品				橋本
	3	義肢装具の実際	義手と義足について・義肢装具体験				宮内先生
	4	肩義手・上腕義手	肩義手・上腕義手 作業療法の目標とプログラム				橋本
	5	手部義手・前腕義手	肩義手・上腕義手 作業療法の目標とプログラム				橋本
	6	義肢装具の実際	義肢装具体験				宮内先生
	7	義肢装具の実際	義肢装具士(PO)とは、役割と給付体制、装具の基礎知識				宮内先生
	8	筋電義手	筋電義手の構造と部品				橋本
	9	義手のチェックアウト	義手の適合判定とフォローアップ				橋本
	10	義足 総論	義足の種類・構造と部品				川崎
	11	切断・義足のリハビリテーション	義足リハビリテーション・評価と目標設定				川崎
	12	スプリント(実習)	カックアップスプリント作製(トレース・型紙・裁断)				橋本
	13	スプリント(実習)	カックアップスプリント作製(裁断・加熱・モールドイング)				橋本
	14	スプリント(実習)	カックアップスプリント作製(モールドイング・修正・仕上げ)				橋本
	15	総まとめ	教科書・配布資料・授業内に実施した演習問題をよく復習しておくこと				橋本
	16	まとめと評価	切断(原因・呼称)および義肢(種類・構造と部品、適合など)の知識				川崎
教科書 参考書	リハビリテーション義肢装具学 清水順市、青木主税 編 (株)メジカルビュー社						
授業に必要な物 備考	事前に確認すること						

【科目名】	装具活用援助技術	専門分野(1単位)	【講師名】 橋本円(作業療法士):医療機関にて15年実務経験				
【講義期間】	2 年次 前期		【対象学生】 第 2 学年 作業療法学科				
【時間数】	30 時間 (2時間 15 回)		【時間帯】 9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)				
授業 内容・目標	装具の名称・構造・役割を知る。 装具を活用するための人体の関節構造と運動について総合的に理解する。 スプリントの適応を理解し、適切に作製することができる。						
前提知識	解剖学・運動学の基礎知識						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	人体の構造・運動の基礎的知識が説明できる。 各種装具の適応・名称と目的を理解する。 スプリントの適応を理解し、作製時の留意点を説明できる。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時				
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○	○				
	思考・推論	○					
	実践・表現	○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	総論、肩関節の構造・運動と装具	スプリントと装具・診療点数について・スプリントの目的 肩関節の構造と運動・肩装具の種類	橋本
	2	肘関節の構造と運動と装具	肘関節の機能・解剖、肘装具の種類	橋本
	3	手関節・手指の構造と運動と装具①	手指の機能・解剖(皮膚・関節・腱・神経・他) Guyon管・手根管症候群、手指の知覚神経支配域 他	橋本
	4	手関節・手指の構造と運動と装具②	末梢神経障害の分類とスプリント療法 トーマススプリント・オープンハイマースプリント・ナックルバンダー他	橋本
	5	腱損傷後の治療と装具①	腱損傷の作業療法の実践(屈筋腱損傷・早期運動療法・固定法) 腱の治癒過程・FDS・FDP・Kleinert法・Duran法・リスク管理 など	橋本
	6	腱損傷後の治療と装具②	腱損傷の作業療法の実践(伸筋腱損傷) スワンネック変形・ボタン穴変形・槌指・ダイナミックスプリント・アウトリガー	橋本
	7	上肢解剖まとめ	上肢解剖と装具の復習	橋本
	8	脊椎の構造と運動と装具	脊柱の彎曲・椎骨の構造と基本的構成、頸椎装具・頸胸椎装具 頸椎カラー・フィラデルフィアカラー・ソーミープレース・モールド式頸椎装具 他	橋本
	9	股関節・骨盤の構造と運動と装具	股関節・骨盤の構造、股装具の特徴と対象疾患 骨盤帯・股継手・股装具の伸展補助機構 他	橋本
	10	膝関節・足関節の構造と運動と装具	膝関節の構造・膝装具の特徴と対象疾患、足関節の構造・短下肢装具の種類 金属支柱付き膝装具・プラスチック膝装具・軟性膝装具 他	橋本
	11	体幹・下肢まとめ	体幹・下肢解剖と装具の復習	橋本
	12	スプリント製作①	スプリント療法について カックアップスプリント 採寸・型紙作成	橋本
	13	スプリント製作②	カックアップスプリント作製 モールディング、ストラッピング	橋本
	14	スプリント製作③	リングスプリントなど	橋本
	15	総復習	授業内容の復習	橋本
	16	まとめと評価	人体の構造・運動の基礎的理解の確認 各種装具の適応・名称と目的の理解の確認 スプリントの適応の理解・作製時の留意点の確認	橋本
教科書 参考書	教科書:「リハビリテーション 義肢装具学」・「基礎運動学」・「解剖学」 参考書:「理学療法テキスト 装具学」			
授業に必要な物	PC、プロジェクター。 自助具・スプリント作製に各自タオル準備。その他必要な物は随時連絡とする。			
備考				

【科目名】	臨床実習Ⅰ	専門分野（4単位）	【講師名】	櫻井直人(作業療法士):医療機関にて17年実務経験 OT学科全教員			
【講義期間】	2年次後期		【対象学生】	第2学年 作業療法学科			
【時間数】	160時間		【時間帯】	9:00～17:00（他時間割参照）			
授業 内容・目標	指導者の元、基本的作業療法を体験し、評価を中心に実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。						
前提知識	1年次から2年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から2年次までに修得した作業療法評価法及び治療法の知識・技術全般。 1年次から2年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般。						
【実施形態】	講義（ ） 演習（ ） 実習（ ○ ）						
到達目標	職場における作業療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 臨床場面に適応した評価をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 作業療法士としての基礎的な態度、心構えを身につける。。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画					
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
	1	臨床実習Ⅰ			
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
教科書 参考書	1年次から2年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類				
授業に必要な物					
備考	各実習施設において必要な資料を各自準備しておくこと。				